

資産運用レポート：マイクロキャップ

1 はじめに

下図をご覧ください。我が国の株式市場にて、飛び抜けて高いパフォーマンスを達成している銘柄群があります。マイクロキャップ（超小型株）です。

時価総額 100～300 億円未満のマイクロキャップは、流動性が乏しいため、機関投資家の投資対象になりづらいです。

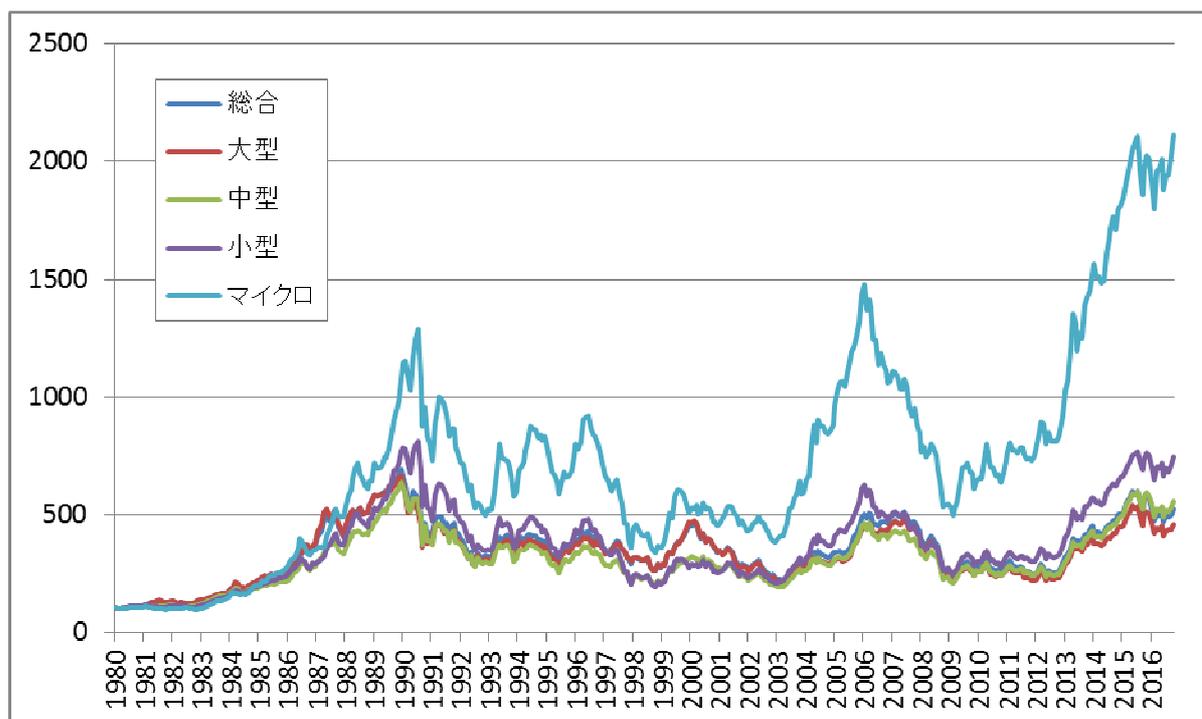
ゆえにフォローする証券アナリストも少なく、株価形成に非効率な一面が残されており、それが高いリターンの源泉とも考えられています。

個別銘柄投資について真面目に取り組んでおり、研究熱心な個人投資家であれば、ぜひとも押さえておきたい分野といえます。

一方で、高いリターンの裏には、相応のリスクが内包されている点にも注意が必要です。

今回の資産運用レポートは、マイクロキャップについて取り上げます。

★日本株の規模別リターン 1980年～



日興株式スタイルインデックスより作成